

浴室換気・乾燥・暖房機 施工説明書

販売店・工事店さま用

品番 BS-101

【注意】●浴室の天井に取付用開口部(410×285mm)が必要です。●本製品は、本体を天井面の下から取り付ける方式となっています。(天井埋込型)●本製品は、交流100V専用となっています。

1 安全のために必ずお守りください

- 取り付けの前に、この事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
- この項に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

●表示の意味は次のとおりになっています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●図記号の意味は次のとおりになっています。

- 「禁止」を表します。
- ⚠ 「必ず行うこと」を表します。
- ⊘ 「分解禁止」を表します。
- ⚡ 「D種接地工事によるアース線を必ず接続すること」を表します。

■取付施工完了後、この項の注意事項が守られているか確認のうえ、試運転を行い異常がないが確認し、取扱説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様がいつでも見られる所に必ず保管するようお願いしてください。

警告

- 内装式風呂を設置した浴室では使用できません。球気ガスが浴室内に滞留し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
- アースをD種接地工事に基づいて確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。故障や異常のときに感電する恐れがあります。
- 交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ⚠ メタルスクリュー、ワイヤレス、または金属振動りの水道の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスクリュー、ワイヤレス、金属板と電気的に接触しないように取り付けてください。再電した場合は、発火することがあります。
- ⚠ 改造はしないでください。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または弊社へご相談ください。

注意

- ⚠ 配線工事は、電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行ってください。接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因となります。
- ⚠ 電源電線の接続は確実に行ってください。接続部が過熱して発火の恐れがあります。
- ⚠ 部品の取り付けは確実に行ってください。落下により、けがをする恐れがあります。
- ⚠ 電源は専用回路とし、途中にスイッチを設けないでください。火災や故障の原因になります。
- ⚠ この浴室換気・乾燥・暖房機の重量は約5.5kgあります。本体取付工事は十分強度が得られるよう補強材などを取り付け、確実に行ってください。落下により、けがをする恐れがあります。
- 本体やリモコンを洗浄したり、雨さらしにしないでください。火災や故障、感電の原因になります。
- ⚠ リモコンは、浴室の外に取り付けてください。感電の恐れがあります。

2 気をつけていただきたいこと

●この浴室換気・乾燥・暖房機は、浴室天井取り付け専用です。製品の取り付けには、下記のような設置基準がありますので、その他のご注意と合わせてご確認ください。なお、地域によっては指導が異なる場合がありますので、所轄の行政官庁または消防署にご確認ください。

東京消防庁火災予防条例による設置基準

浴室乾燥暖房機は火災予防条例の「天井埋込型空気循環乾燥・暖房等電気機器の設置に係る運用について(通知)」に基づいて適用されます。本製品は、この設置基準に適用する機器として認められています。

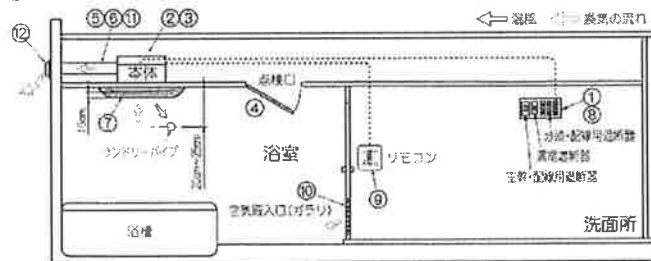
設置基準

- ① 漏電遮断器を設け、機器本体のアース端子に規定のアース線を確実に接続してください。
- ② 機器本体は上層フロアや天井などに堅固に取り付けてください。
- ③ 機器本体は可燃物との距離を開ける必要はありません。
- ④ 機器本体に近接する部分に、機器本体の点検・清掃に必要な点検口を設けてください。
- ⑤ ダクトの材質は、不燃材料で造られたものをご使用ください。
- ⑥ ダクトは専用としてください。
- ⑦ 浴室内の湿気吸出口および空気吸込口の前方10cm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けないでください。

その他のご注意

「安全のために必ずお守りください」の項をよくお読みいただき、さらに次の事項をあわせてお守りください。

- ⚠ 電気は専用の配線用遮断器(安全ブレーカー20A)から配線し、途中にスイッチを設けないでください。
- ⚠ リモコンは、必ず浴室外に取り付けてください。決して浴室内に取り付けしないでください。感電の原因になります。
- ⚠ 臭気除去を確保するため、浴室ドアに空気取入口が閉じられていることを確認してください。(有効開口面積100cm以上)
- ⚠ 排気ダクトは、屋外に向かって約1°の下り勾配にして、雨水や給排水の逆流を防止してください。
- ⚠ 排気ダクトの外壁面には、ペントキャップやウエーカパーなどを取り付け、雨水や鳥などの侵入を防いでください。



■次のような特殊な環境でのご使用は避けてください。
湯気など腐食しやすいガスが出る場所、異常に高温になる場所などでの設置はしないでください。故障の原因になります。

■次のようなダクト工事はしないでください。 風量低下の原因になります。
○極端な曲付(90°以上曲がないでください) ○多数の曲付(曲げ数が多くなれば風量が低下します) ○排気口のすぐそばでの曲付 ○接続ダクト径を極端に小さくする。(しぼり)

3 部材内訳と外形寸法図(単位:mm)

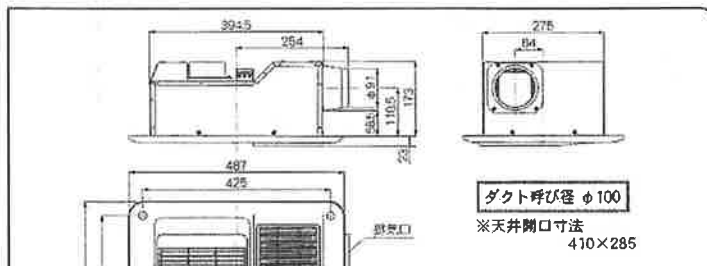
梱包内容

- 本体(リモコンコード(8m)付き).....1台
- フロントパネル(フィルター(ネット付き)付き).....1個
- リモコン.....1個
- 施工説明書(取付・配線図を必ずお読みください、必ずお守りください).....1枚
- 取扱説明書(必ずお守りください).....1冊
- 付属ねじセット
 - ・+トラスタッピンねじ4×40(本体取付用).....6本
 - ・+バンドPTねじ4×8(フロントパネル取付用).....4本
 - ・ねじ穴カバー(フロントパネル用).....4個
 - ・+皿タッピンねじ4×35(リモコン取付用).....4本

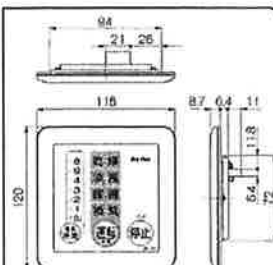
工事店さまで用意いただく部材

- ・VVVFケーブル
φ1.6mm×φ2mm(電源用)
- ・アース線又はビニール銅線
φ1.6mm×φ2mm
- ・金属製パイプ(φ100)
- ・補強材
- ・絶縁テープ
- ・アルミテープ
- ・リモコン取付用はさみ金具
(はさみ金具使用の場合)

■本体外形寸法図



■リモコン外形寸法図



4 取り付け前の準備

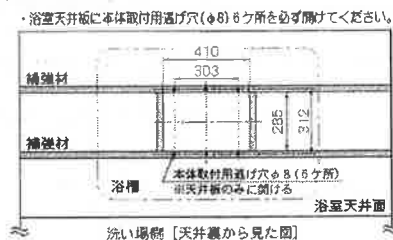
●本体の取付位置について

浴室換気・乾燥・暖房機の取付位置は、下図位置が推奨位置となり、浴槽の上で吹出し口の位置が洗い場側にくるのを標準的な取付方向としてください。但し、吹出し口の位置が反対側でも機能上問題ありません。その他、浴室・建物の構造条件に応じて取付方向・位置をご確認ください。

●補強材の取り付け

- ①浴室の天井板に下図位置のように410×285mmの開口部を設けてください。
- ②浴室の天井に補強材(下図の 部分)を設けてください。排気ダクト接続部側の補強材の厚さは、35mm以下(天井板含む)となります。この寸法より厚いと、本体が取り付けできません。

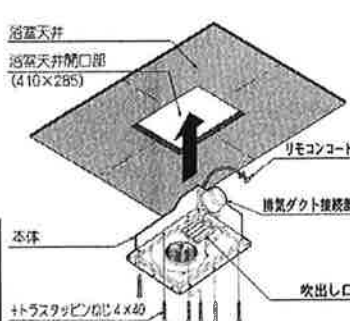
取付注意
天井板が塩ビ鋼板の場合は、必ず開口部小口と本体取付用透け穴(φ8)6ヶ所に錆止め材を施してください。



5 本体の取り付け

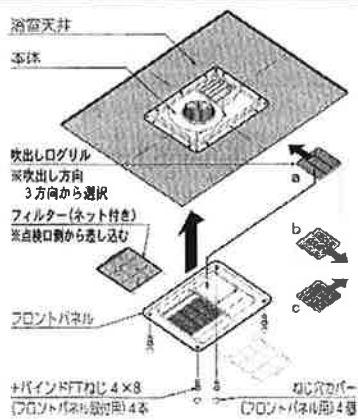
本体を排気ダクト接続部側から開口部に差し込み、付属の+トラスタッピンねじ4×40(本体取付用)6本で取り付けてください。吹出し口が洗い場側に向くのが標準的な取付方向です。但し、吹出し口の位置が反対側でも機能上問題ありません。

取付注意
リモコンコードを挟み込まないよう注意し、取り付けてください。



6 フロントパネルの取り付け

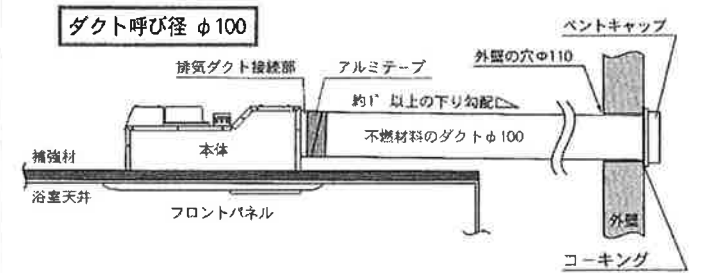
- ①フロントパネルを取り付ける前に、必ずフィルターを取り外してください。
- ②初期出荷状態では吹出しログリルがaの向きになっています。吹出しログリルはb,cのように向きを変えて取り付けができます。吹出し方向がランドリーパイブ側に向いていない場合は、吹出し方向がランドリーパイブ側に向くように吹出しログリルを取り付け直してください。
- ③フロントパネルを付属の+バインドFTねじ4×8(フロントパネル取付用)4本で取り付けてください。
- ④フィルターを点検口側から差し込んでください。
- ⑤ねじの頭をかくすため、付属のねじ穴カバー(フロントパネル用)4個を必ずはめてください。



! 吹出し方向がランドリーパイブ側に向いていない場合は、吹出し方向がランドリーパイブ側に向くように吹出しログリルを取り付け直してください。

7 ダクト工事

- ①外壁に排気ダクトを通す穴(φ110)1ヶ所を設けてください。
- ②排気ダクト(φ100)を本体の排気ダクト接続部にしっかり差し込んで、アルミテープ等で確実に固定してください。ダクトは、本体に力が加わらないよう天井から吊してください。
- ③外壁面に低圧換型のベントキャップ、ウエザーカバー(市販品)などを取り付け、コーキングを施してください。
※上記ダクト工事の手順はひとつの例となります。作業は、現場の状況にあわせて、工事の行いやすい手順で行ってください。

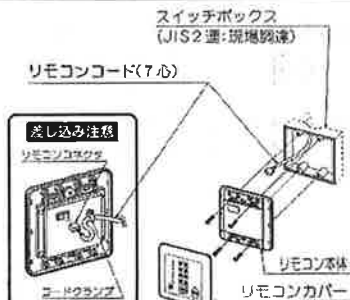


9 リモコンの取り付け

- 電気工事は電気設備技術基準や内線規定に基づき、電気工事士の免許を持った方が行ってください。
- リモコンはお客様と打ち合わせて、操作に便利な位置に取り付けてください。
- リモコンは洗面脱衣室など、必ず浴室外に取り付けてください。防水構造になっていないので、浴室内には取り付けしないでください。
- リモコンと浴室換気・乾燥・暖房機本体は6m、7心コードで接続します。リモコンコードは本体に接続されています。壁にリモコンコードを通線する時は、先端のコネクタ、接続電線部分を保護して作業を行ってください。また、通線の途中でリモコンコードが尖ったものへ接触したり、こすれたりしないように施工してください。断線や故障の原因となります。

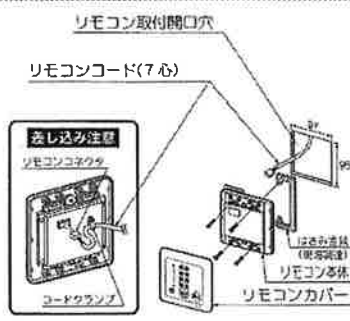
イ. スイッチボックスを使用する場合

- ①取付場所に事前にスイッチボックス(JIS2選:現場調達)を取り付けておいてください。
- ②リモコンカバーをリモコン本体から取り外してください。
- ③リモコン裏のソケット(7P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
- ④リモコンコードをコードクランプで固定してください。
- ⑤スイッチボックス用取付ねじ(現場調達)4本でリモコン本体をスイッチボックスに取り付けてください。ねじは締めすぎないように注意してください。
- ⑥リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



ロ. 市販のはさみ金具を使用する場合

- ①取付場所に穴(97×95mm)を開けてください。穴を開けると、リモコンコードを断線しないように注意してください。
- ②リモコンカバーをリモコン本体から取り外してください。
- ③リモコン裏のソケット(7P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
- ④リモコンコードをコードクランプで固定してください。
- ⑤各はさみ金具(現場調達)の取付方法で取り付けてください。ねじは締めすぎないように注意してください。
- ⑥リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



8 電気工事

- 電気工事は電気設備技術基準や内線規定に基づき、電気工事士の免許を持った方が行ってください。
- 本機は、単相AC100V専用です。
- 本機は、1400W/1410W(温風)です。20A以上の専用の配線用遮断器(専用回路)を設けてください。
- 浴室は湿度が高いため、分電盤に漏電遮断器を設けてください。
- D種接地工事に基づいたアース線を必ず本体に接続してください。水道管、ガス管などへは絶対にアース線を接続しないでください。
- メタルスズリ、ワイヤレス張り、または金属張りの木造建築に金属製ダクトが貫通する場合は、電氣的に接触しないように取り付けてください。
- 電力会社との契約電力量が不足している場合は、追加工事を行ってください。
- 電気工事は必ず分電盤の浴室換気・乾燥・暖房機のブレーカーを切って行ってください。

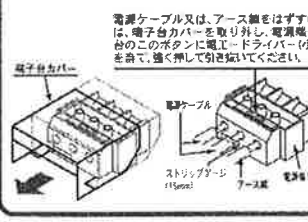
- ①端子台カバーをスライドさせ取り外してください。
- ②本体裏側端子台に配線用遮断器(単相AC100V)から電源ケーブル(WVFケーブル:φ1.6mm~φ2.0mm)で直接結線してください。電源端子台に電源ケーブルを差し込む際、接地側の白線(灰線)を中央穴に差し込んでください。メンテナンスの際、本体を容易に取り外せるように、電源ケーブルは本体付近で2mくらいの余裕をとるように配線してください。
- ③本体裏側端子台にアース端子またはアース棒よりアース線(ビニール銅線:φ1.6mm~φ2.0mm)で結線してください。アース線も電源ケーブル同様に本体付近で2mくらいの余裕をとるように配線してください。
- ④端子台カバーを元通りに取り付け、各ケーブルをコードクランプで固定してください。

! 電源電圧に注意!!

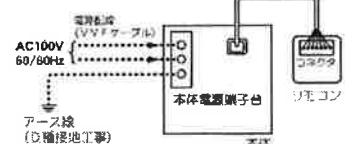
△注意

- D種接地工事によるアース線を確実に接続してください。
- 電源接続方法
- ①電源端子台正面のストリップゲージに合わせ、電線被覆を15mmむいてください。
- ②端子台カバーをスライドさせ取り外してください。
- ③端子穴に心線を「くっ」と戻すまでむきしろが見えないように確実に差し込んでください。
- ④差し込みが不完全な場合、過熱する恐れがあり、発熱や火災の原因となります。
- ⑤端子台カバーを元通りに取り付けてください。
- この電源端子台はφ1.6mm~φ2.0mmの単線専用です。より線は接触不良により発熱の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

指定電圧 単相AC100V



! 接続注意!!

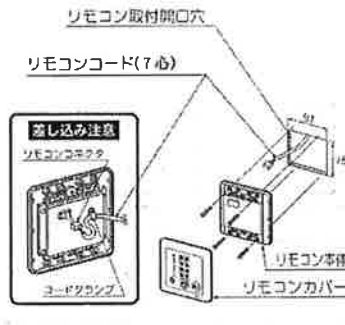


! 接続注意!!



ハ. 壁へ直接取り付けの場合

- ねじが効きにくい壁には、事前に裏補強するか、カールプラグなどを使用してください。
- ①取付場所に穴(97×78mm)を開けてください。穴を開けると、リモコンコードを断線しないように注意してください。
 - ②リモコンカバーをリモコン本体から取り外してください。
 - ③リモコン裏のソケット(7P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、故障や誤動作の原因となります。
 - ④リモコンコードをコードクランプで固定してください。
 - ⑤付属の+金具(現場調達)ねじ4×35(リモコン取付用)4本でリモコン本体を壁に取り付けてください。ねじは締めすぎないように注意してください。
 - ⑥リモコンカバーを元通りに取り付けてください。



10 点検と試運転

- ①本体とリモコンが確実に取り付けられているか確認してください。
- ②単相AC100V用電源ケーブルが、分電盤より本体に結線され、リモコンコードが確実に接続されているか確認してください。
- ③アースが確実に取り付けられているか確認してください。
- ④ダクト類が確実に取り付けられているか確認してください。
- ⑤最初の項目の「安全のために必ずお守りください!」が守られているか、確認してください。
- ⑥取扱説明書を参照し、各運転モードについて正常な運転ができるか確認してください。このとき、運転中に振動、異常音がないか確認してください。

不具合が生じた場合、点検の内容を再確認してください。不具合が修正できない場合は、右記フリーダイヤルまでご連絡ください。☎ 0120-011-408

11 ランドリーパイブの取り付け

- ・ランドリーパイブを購入される時は、必ずシステムバスの施工マニュアルに記載してある荷重に耐える耐蝕性、及び不燃性のものをご使用ください。
- ・ランドリーパイブの取付位置は、システムバスの施工マニュアルを参照してください。
- ・ランドリーパイブの取り付け位置によっては、乾燥時間が長くなる場合があります。

●取扱説明書の保証書に、販売店名、住所、電話番号、取付年月日を記入の上、この施工説明書と共にお客様に必ず保管していただくように依頼してください。

MAX マックスシフト株式会社 TEL 048-266-3311(代) FAX 048-266-3792